

歴史と想いが詰まった駅舎の木材を街へ拡げていく 「駅古材活用プロジェクト(えきもくプロジェクト)」第3弾を実施します！

～池上線を象徴する長いベンチを制作できる「ベンチキット」を配布し、街に思い出のベンチが広がります～

東京急行電鉄株式会社

当社は、「駅古材活用プロジェクト(えきもくプロジェクト)」(以下、本プロジェクト)の第3弾として、池上線池上駅開発計画と連動して、既存の駅舎に使用していた木材を使ってベンチを制作し、街に拡げていく、「池上駅の『えきもく』を使ったベンチを街に拡げよう」計画(以下、本取り組み)を実施します。

2018年春に始まった本プロジェクトは、池上線旗の台駅改良工事「木になるリニューアル」および池上駅開発計画で発生した木材(以下、古材)を駅および沿線で活用し、歴史ある木造駅の記憶を未来に継承することや、工事に伴う環境負荷低減(廃材処理時のCO2削減)に寄与することを目的としています。これまで、2018年6月には「駅古材で椅子を制作するワークショップ」を、2018年11月には「池上線全線祭り」の一環で旗の台駅にて、「駅古材でクリスマスオーナメントを制作するワークショップ」を実施してきました。

第3弾となる本取り組みでは、長野県諏訪市を拠点に古材を再利用する活動を続けるリビルディングセンタージャパンの協力のもと、池上線の象徴である長いベンチを、公共の場で活用していただける「えきもくベンチ」としてリデザインし、池上駅の古材を用いたベンチの制作キット(以下、ベンチキット)として、10組無料で配布します。これまでの実施イベントなどを通して、お客さまから寄せられた池上線の長いベンチの撤去を惜しむ数多くの声を受け、同じ形を再現できるベンチキットの配布を決めました。配布先は、駅だけでなく街の中で広く利用していただけるよう、公共の場に設置していただける事業者さまを対象とし、制作いただいたベンチの設置場所はマップ形式で公開します。なお、市販の材料でどなたでも「えきもくベンチ」を制作できるよう、ベンチの制作図面は当社WEBサイト「いい街いい電車プロジェクト」にマップと共に公開します。

当社は2017年9月から、池上線において生活に根付いた地域資源を「生活名所」として選定し、魅力を掘り起こす「生活名所プロジェクト」を実施しており、2018年11月23日、24日に開催した「池上線全線祭り」は大盛況となるなど、さまざまな形で沿線の魅力を発信しています。また、2019年3月6日に大田区と締結した「地域力を活かした公民連携によるまちづくりの推進に関する基本協定」の取組み事項の一つにも「地域資源の発掘とプロモーション」を掲げており、池上本門寺の旧参道の入口に開設・運営するまちづくり推進拠点の内装に、「えきもく」を活用し、「えきもく」が地域をつなぐきっかけの一つになることを目指します。

今後も、池上線沿線の魅力を活かした取り組みを継続的に実施していくことで、沿線の魅力を高めていきます。本取り組みの概要は、別紙のとおりです。

※本プロジェクトの最新情報は、随時当社WEBサイト「いい街いい電車プロジェクト <http://ii.tokyu.co.jp>」に掲載します。



▲自作いただくベンチ(イメージ)



▲池上駅舎に設置されていた長いベンチ 以上

【別紙】

■「池上駅の「えきもく」を使ったベンチを街に拡げよう」計画概要

池上駅で使っていた古材で、池上駅に設置されていたベンチをリデザインしたものを自作いただける「ベンチキット」を10組配布します。池上駅で愛されてきたベンチが街に拡がり、より多くの皆さまにご利用いただけるよう、公共の場にベンチを設置して下さる事業者さまを募集します。

- (1) 募集期間 2019年3月26日(火)～4月30日(火)
(ii.tokyu.co.jp/town/ekimoku/)
- (2) 配布キット数 10組
- (3) ベンチキット引渡日 2019年6月1日(土)
- (4) ベンチキット費用 無料
- (5) ベンチの大きさ 高さ 約100cm、幅 約200cm、奥行 約50cm
※完成したベンチには、池上駅の古材であることを証明するためのプレートを設置していただきます。



▲プレートイメージ

(参考)

■駅古材活用プロジェクト概要

池上線旗の台駅改良工事「木になるリニューアル」および池上駅開発計画に伴い、池上線の歴史や記憶の継承、環境負荷低減を目的に、駅舎およびホーム屋根などに使用してきた古材を新たな形で活用します。

(1) 古材の概要

- ・古材活用元：池上線旗の台駅および池上駅の駅舎およびホーム屋根など
- ・古材発生量：約200m³(直径30cm 長さ4mの丸太約555本)
※古材活用量については、古材劣化・損傷や保管場所などの状況により変動します。

(2) 駅古材活用プロジェクト第1弾：えきもくワークショップ「池上駅の「えきもく」で椅子を作ろう」概要

2018年6月30日、池上会館(大田区)にて、池上線池上駅で使用していた角材を使って椅子を制作するワークショップを開催しました。本プロジェクトの協力者であるリビルディングセンタージャパンのメンバー指導の下、古材の風合いを味わえる“図工室にあるような椅子”を制作するワークショップに、15組(30名)の参加者を募集したところ、その9倍の135組(270名)の申し込みをいただきました。



▲椅子を制作している様子



▲ワークショップ集合写真

(3) 駅古材活用プロジェクト第2弾：「“えきもく”でクリスマスオーナメントをつくろう！」概要

2018年11月23日、池上線旗の台駅前広場にて、駅古材を使ってクリスマスオーナメントを制作するワークショップを開催しました。本プロジェクトに共感いただいた品川区商店街連合会よりお声掛けいただき、商店街連合会主催、東急電鉄協力の元、開催されました。池上線沿線にお住いの小学生を対象に、18名の参加者と、クリスマスツリーのオーナメントを制作しました。

■池上線沿線駅舎のリニューアルについて

(1)旗の台駅ホーム上家建替え工事「木になるリニューアル」概要

池上線戸越銀座駅リニューアル「木になるリニューアル」に引き続き、多摩産材を活用して、ホーム屋根、待合室を2019年にリニューアルします。



▲旗の台駅ホーム上家建替え工事 改修後イメージ

(2)池上駅開発計画(駅舎改良・駅ビル開発)概要

駅舎改良では、現在北側に1カ所ある改札口を橋上化し南口を新設する他、改札内の構内踏切を廃止します。駅ビルは5階建てとし、大田区立池上図書館を駅ビルに移転し整備すると共に、保育園、図書館、店舗などの導入を検討しています。建物のデザイン監修は株式会社 E.A.S.T.建築都市計画事務所が手がけ、外観には、740年以上の歴史をもつ池上本門寺を中心とした門前町の歴史性をデザインに取り入れ、駅と街の一体感を形成し、2020年度の竣工を目指します。

○用途: 駅舎、物販店舗、飲食店舗、図書館、サービス店舗(保育所など) ○構造・階数: 鉄骨造5階建



▲駅外観イメージ



▲北側の駅出入口イメージ

■「生活名所」プロジェクト概要

商店街をはじめとした地域の方や、品川区、大田区などの行政関係者と共に池上線の魅力を一緒に考え、つくり、実践する“まちづくり”プロジェクトです。当社では、地元関係者の方などへのヒアリングや調査を行い、両区とともに、池上線の魅力を「人々のつながりや温もりを感じる場所など、生活に根付いたもの」と結論づけました。この魅力を多くの方に認知していただくため、「①人の暮らしに根付いていること“ヒューマンスケール”」「②作り手を感じられること“クラフトマンシップ”」「③つながりをつくっていること“コミュニティ”」「④だれでもウエルカムであること“オープンマインド”」「⑤地域を愛し、愛されていること“ローカル”」の5項目をブランドコンセプトに位置付け、該当するものを「生活名所」として、その魅力を継続的に発信していきます。

<これまでの主な実施イベント>

①開通90周年記念イベント: 10月9日池上線フリー乗車デー

2017年10月9日(月・祝)に「開通90周年記念イベント10月9日池上線フリー乗車デー」と題し、池上線を1日無料で巡っていただくイベントを実施しました。池上線沿線の各所でさまざまなイベントを実施し、多くの方に地元住民から愛される商店街や、豊かな自然、歴史・名所史跡などの、池上線沿線ならではの魅力に触れていただきました。改札通過人数は569千人と、通常の約4倍弱のお客さまにお越しいただきました。

②お祭りは続くよ、どこまでも「池上線全線祭り」

2018年11月23日(金・祝)・24日(土)の2日間、池上線全15駅で大小さまざまなイベントを開催し、1路線全駅でお祭り催事を行うという、首都圏の鉄道会社では初めての試みを実施しました。当日は、戸越銀座駅、池上駅でのストリートビューフェヤ、「乾杯電車」の運行などが人気を集め、沿線が一体となって盛り上がりました。

その他詳細は専用サイト(<https://seikatsumeisho.com/>)に掲載しています。

■「地域力を活かした公民連携によるまちづくりの推進に関する基本協定」概要

大田区と当社は、駅を中心とした地域の持続的な発展を目指し、2019年3月6日(水)に協定を締結しました。協定の締結により、さらなる連携強化を図るとともに、「地域資源の発掘とプロモーション」や、「空き家、空き店舗などの遊休資産のリノベーションなどによる地域活性化」などを開始します。

本協定に基づく具体的な第1弾の取り組みとして、まちづくり機運の高い「池上駅周辺」をモデル地区とする「池上エリアリノベーションプロジェクト」(<http://ikegami-ar.jp>)を推進します。

本プロジェクトのまちづくり推進拠点として、「SANDO BY WEMON PROJECTS(さんど ばい ゑもんぶろじえくと)」を2019年5月に開設します。本拠点は、日常的な人材交流と地域資源の発掘・発信を目的に、カフェやイベントスペースを兼ねた空間として整備します。

今後、池上エリアのほか、日本初の勝海舟記念館が今夏開業する洗足池エリアをはじめ、各エリアを連携したまちづくりについても、両者で検討を進めていきます。



▲「池上エリアリノベーションプロジェクト」取組イメージ

以 上